

一生涯を通した歯科保健対策の確立をめざして(6)

幼稚園・保育園の4・5歳児を対象にした歯科保健対策

社団法人富岡甘楽歯科医師会 歯科衛生士

杉山早苗 入山久美子 平塚貴恵*

松本裕美* 村上裕美* 山田一江*

*群馬県歯科衛生士会

1. はじめに

富岡甘楽歯科医師会は、平成4年に完成した富岡甘楽口腔保健センターに事務局を置き、地域の歯科保健の充実をめざしています。平成11年9月末現在の会員数は37名で、事務局には事務長と常勤歯科衛生士2名が勤務しています。

当歯科医師会では、平成5年に公衆衛生活動の目標を具体化した『各ライフステージにおける歯科保健対策』を立案し、生涯を通した歯科保健システムの確立をめざしています。その対策の内容は、乳歯のむし歯予防対策、永久歯のむし歯予防対策、児童生徒の歯肉炎予防対策から始まり、成人・高齢者の歯科保健対策、訪問歯科診療、訪問口腔衛生指導、心身障害者(児)の歯科診療までを包括する総合的なものです。

今回は、その一環として実施されている「幼稚園・保育園の4・5歳児を対象にした歯科保健対策」の成果について紹介いたします。

2. 幼稚園・保育園における歯科保健対策の目的

乳歯のむし歯予防対策の成果を継続する

管内の全市町村で、乳歯のむし歯予防対策として、従来の方法に加えて、フッ素塗布と「家庭でのフッ素利用」を組み合わせた歯科保健対策が実施されています。その結果、3歳児のむし歯の罹患状況は大幅に改善しました。〔表1〕その成果を継続させる必要があります。

永久歯のむし歯予防対策の第一歩を開始する

5歳前後から永久歯が萌出する子供が増えています。永久歯が萌出を開始する前から、むし歯予防対策〔6歳臼歯が主な対象〕を開始することが重要です。

保護者へ正確な歯科保健情報を提供する

小学校に入学してからは、保護者へ直接情報を提供する方法がほとんどありません。幼稚園・保育園での歯科保健指導は正確な情報を保護者に提供するよい機会です。

3. 幼稚園・保育園で実施されている歯科保健事業

フッ素洗口法〔4・5歳児が対象〕

昭和61年に甘楽町立の4幼稚園で始まったフッ素洗口法は、平成4年度から管内全市町村に急速に普及しました。現在、管内の認可を受けた保育園・幼稚園31施設中の30施設で、4・5歳児を対象にフッ素洗口が実施されています。〔表2〕フッ素洗口は希望者を対象にしていますが、平成11年度の実施園児数は1362名で、実施率は95%を超えています。〔表3〕実施方法は、フッ素洗口剤「ミラノール集団洗口用」を使用した、週5回法を採用しています。

フッ素洗口を新規に開始する場合には、各園ごとに説明会を

表1 富岡保健福祉事務所管内 3歳児健診結果

年度	むし歯経験歯数 dit index(本)	むし歯保有者率 df 者率(%)
昭和 60年	5.24	77.8
61年	4.92	77.7
62年	5.11	76.0
63年	5.43	78.3
平成 元年	4.91	78.8
2年	5.00	74.3
3年	4.99	76.4
4年	4.61	73.0
5年	4.04	67.9
6年	3.08	57.0
7年	2.33	48.0
8年	2.26	42.7
9年	1.65	39.6
10年	1.32	30.5

表2 富岡甘楽地区 保育園・幼稚園
フッ素洗口実施状況(施設数)

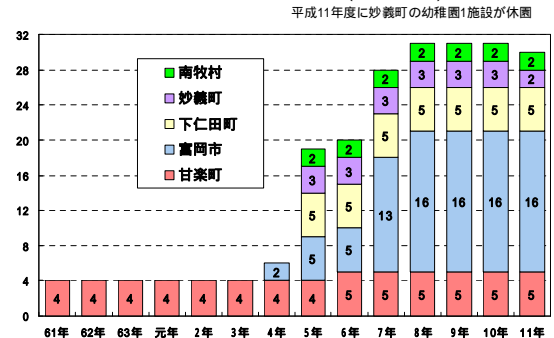
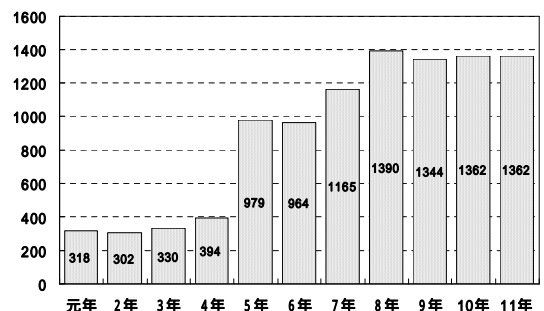


表3 富岡甘楽地区 保育園・幼稚園
フッ素洗口実施状況(園児数)



開催しています。また、次年度以降は、市町村ごとに説明会を毎年開催しています。歯科衛生士は、歯科医師と一緒に説明会に講師として参加し、主に実技指導を担当しています。

歯科衛生士による巡回歯科保健指導

幼稚園・保育園の5歳児とその保護者を主な対象に、管内全市町村で歯科衛生士による巡回歯科保健指導が実施されています。歯科保健指導は、甘楽町で平成4年度に初めて予算化されましたが、その後、平成5年度に下仁田町、平成6年度に妙義町、平成7年度に南牧村、平成8年度に富岡市と順次予算化されました。

平成10年度の実施状況は表4のとおりです。歯科保健指導は29施設で実施され、参加数は、園児809名、保護者537名で、歯科衛生士の延出勤回数は57回です。3施設で日程の調整がつかず、実施できませんでした。

指導内容は、正しいブラッシング方法の習得、フッ素利用についての情報の提供など、歯科保健全般にわたっていて、子供たちだけでなく、保護者のむし歯や歯周疾患の予防にも結びつくよう配慮されています。

4. 結果と考察

幼稚園・保育園でフッ素洗口と歯科保健指導を実施した結果、小学校1年生の永久歯のむし歯罹患状況が大幅に改善しました。平成7年度以降は、小学校1年生のDMF者率、DMF歯数ともに、甘楽郡が県内のトップレベルを維持しています。平成9年度からは、富岡市も1年生のむし歯が市部の中では最も少なくなってきました。〔表5・表6〕富岡市では、フッ素洗口を実施している幼稚園・保育園の増加とともに、小学校1年生の永久歯のむし歯が減少し、4年間で約1/3になりました。〔表6〕

富岡甘楽地区では、就学児〔6歳〕の乳歯のむし歯経験歯数が、ここ数年間確実に減少しています。平成5年頃は、全国平均7.1本とほぼ同水準でしたが、平成10年度は4.19~4.83本とかなり改善されてきました。〔表7〕

平成7年度の3歳児健診結果と平成10年度の就学時健診結果を比較すると、3歳から6歳までのdf歯数の増加は全国平均の約1/2となっています。

全国平均	3.9本〔3歳児3.2本 6歳児7.1本〕
富岡市	2.05本〔3歳児2.31本 6歳児4.36本〕
甘楽町	1.89本〔3歳児2.38本 6歳児4.27本〕
下仁田町	2.17本〔3歳児2.02本 6歳児4.19本〕
妙義町	1.78本〔3歳児3.05本 6歳児4.83本〕

幼稚園・保育園の4・5歳児を対象に実施している歯科保健対策が、乳歯・永久歯のいずれのむし歯予防対策としても、非常に効果的であることが改めて証明されました。

5. 今後の課題

富岡甘楽地区で実施されている小学校入学前の歯科保健対策は、全国的にも高い評価を受けています。

今後は、小中学校においても一貫した方針のもとに、歯科保健対策が実施される必要があります。成果が上がっているフッ素洗口の小中学生への普及や歯科衛生士による巡回歯科保健指導の充実が、今後の大きな課題になっています。

表4 歯科衛生士による巡回歯科保健指導の実施状況
(平成10年度 保育園・幼稚園)

	対象施設数	実施施設数	参加数(人)		衛生士延人数	保健婦延人数
			園児	保護者		
富岡市	17	17	458	307	34	17
甘楽町	5	5	128	117	10	5
下仁田町	5	5	178	90	9	5
妙義町	3	2	45	23	4	2
南牧村	2	0	0	0	0	0
合計	32	29	809	537	57	29

表5 平成10年度歯科保健調査結果(群馬県教育委員会)
永久歯のむし歯経験歯数 / DMF歯数(本)

郡市名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
富岡市	0.14	0.45	1.15	1.65	2.08	3.05	1.47
甘楽郡	0.09	0.30	0.52	1.02	1.43	2.32	1.04
群馬県	0.21	0.57	1.06	1.49	1.93	2.54	1.33

永久歯のむし歯保有者率 / DMF者率(%)

郡市名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
富岡市	7.4	24.3	49.6	60.6	72.3	77.0	50.0
甘楽郡	5.6	17.3	26.0	42.3	57.8	71.4	39.6
群馬県	11.5	27.7	44.7	56.1	64.4	72.9	47.1

表6 富岡市の幼稚園・保育園での歯科保健対策と
小学校1・2年生 永久歯のむし歯経験歯数の推移(本)
歯科保健調査結果(群馬県教育委員会)より抜粋

年度	1年生	2年生	フッ素洗口実施園数
平成4年			2
5年	0.4	1.0	5
6年	0.29	0.97	5
7年	0.33	0.83	13
8年	0.24	0.77	16
9年	0.14	0.65	16
10年	0.14	0.45	16

市の予算で巡回歯科保健指導を実施

表7 乳歯のむし歯経験歯数 / df歯数(本)

就学時健診(6歳)の結果から抜粋				
年度	富岡市	甘楽町	下仁田町	妙義町
平成4年		7.67	8.13	
5年	6.17	7.26	7.18	
6年		6.42	7.88	
7年		5.61	7.20	
8年	5.22	5.90	5.06	
9年	4.03	4.88	5.46	5.84
10年	4.36	4.27	4.19	4.83

表8 乳歯のむし歯経験歯数 / df歯数(本)

平成5年歯科疾患実態調査より抜粋						
年齢	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
df歯数	0.3	1.4	3.2	4.3	6.2	7.1

df歯数は6歳でピークに達し、その後は永久歯の萌出とともに減少します。